

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 20日

事業所名 しあわせ駅 松本

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		机などのレイアウトや安全クッションなどで工夫し、安全に過ごせるよう配慮しております。
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準は満たしていますが、指導員の休みが重なったり、急な休みが出た場合でも対応しやすい人数を確保する必要がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		今のところ室内で車椅子は使用していないので、高さのある場所には台を置く。 構造化・・・まだ改善が必要なので、これから改善を図っていく。 バリアフリー・・・踏み台や手摺等で補っているがスロープが無い。 聴覚児向けのパトライト等も設置していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔に保てるようスタッフ一同取り組んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善のためのミーティングを随時行なっているが、今後さらに明確な目標設定と振り返りを強化していきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様の意見を積極的に取り入れ、業務改善ができるように努めていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	保護者の評価を参考に改善している途中である。 ホームページやデイダより、会報で公開していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現在改善中である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		本社にて研修あり。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		職員全員で確認している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個々に合わせたアセスメントツールを使用しているが、今後も見直しを図っていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		これから強化していく予定。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を職員で共有し、個々に合わせた支援を心掛けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムの立案は、全職員の意見を必ず取り入れるようにミーティングを組んでいる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		全職員の意見を取り入れることで、支援内容がマンネリ化しないように気をつけている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		アセスメント内容も参照しながら、個人に合わせた支援を行えるよう、工夫しながら行なっている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務分担は行っているが、さらに明確な役割分担を行い、時間が取れない場合は申し送り等を活用してこまめに情報共有を行い、態勢を整えていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日に振り返り、共有する時間を確保することが難しい場合は申し送りに書く。記録の際、話しを(共有)する時間があるので、工夫して時間を確保していきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は必ず行っているが、より良い支援に繋げていくためにも職員同士での情報共有など徹底して行っていきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員全員で確認している。
関係機関や保護者との連携関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		出来るだけその児童の様子、現状を把握している職員が参画できるよう体制を整えている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	まだ行えていないが、今後強化していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	対象児がいないため現時点では行っていないが、必要に応じて対応していきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	対象児がいないため現時点では行っていないが、必要に応じて対応していきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議を設けるなど、他機関と連携し密に情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		モニタリング時などに行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		活動の中で児童センターへ出向く際に情報交換を行うことがある。 研修等の機会があれば、今後ぜひ参加したいと考えている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		児童館などで交流する機会あり。 園規模での団体交流の機会はありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	まだ不参加。 今後参加の機会を作っていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時などに話す機会を設けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングはまだ行えていないが、今後研修等に 参加し支援の向上を図っていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず書面、口頭での説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		きちんと説明を行った後、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		専門家の意見を取りいれながら、必要な助言が適切にできるよう勉強していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会等はないが、年に1度児童・保護者様が集う交流会を行い、顔を合わせる機会を設けている。 交流会を企画・検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談等があった際は必要に応じてミーティングを設け、迅速かつ適切な対応を心掛けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		写真などを使い、子供達の様子や行事予定などを発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		シュレッダー等を活用し、書類の廃棄など行っている。 保存書類は窓から見えない様、保護シートや施錠での管理を行っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		手話や連絡帳等のツールを用いて図っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	まだ行えていないが、今後努力していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルの策定を行っている。 今後さらに、職員・保護者様への周知を徹底していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練などに取り組んでいる。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認している。 また、保護者様からの相談があれば、都度確認及び職員間の情報共有を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師ではなく保護者様の指示で対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		現在作成中で、口頭で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		本社にて研修の機会あり。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	対象児童無し。身体拘束に関する注意事項等はマニュアル化している。 今後、身体拘束を必要とする児童がいる場合は、作成したマニュアルのもと行うことを全職員周知を徹底したい。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。